

保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援 評価（保護者用）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていると思いますか。	72%	14%		14%
2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	72%	14%		14%
3	支援の頻度や時間について、相談の上決定されていると思いますか。	72%		14%	14%
4	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	72%	14%		14%
5	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	72%		14%	14%
6	個別支援計画には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	72%		14%	14%
7	支援計画に沿った支援が行なわれていると思いますか。	72%		14%	14%
8	支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行なわれていると思いますか。	72%	14%		14%
9	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	72%	14%		14%
10	必要な時にこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	72%		14%	14%
11	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行なわれていますか。	72%		14%	14%
12	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されていると思いますか。	72%	14%		14%
13	相談や申し入れについて、対応の体制についてそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	72%		14%	14%
14	支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行なわれていると思いますか。	72%	14%		14%
15	支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	72%	14%		14%
16	定期的に通信やホームページ・SNS等で活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていると思いますか。	57%		14%	29%

17	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	72%	14%		14%
18	緊急時の対応について訪問施設と連携し、実践できるよう説明がありましたか。	72%	14%	14%	29%
19	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行なわれていると思いますか。	72%	14%		14%
20	支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	72%	14%		14%

保育所等訪問支援評価（訪問先施設用）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
1	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	83%	17%		
2	訪問支援員の電話対応、挨拶や身だしなみは好感が持てますか。また、先生方にとって相談しやすい存在となっていますか。	83%	17%		
3	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%			
4	訪問支援に使用する教具教材が整えられていると思いますか。	17%	50%		33%
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%			
6	保育所等訪問支援(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	83%			17%
7	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行なわれていると思いますか。	67%	33%		
8	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	83%	17%		
9	緊急時の対応について連携し、実践できるよう訪問支援員からの確認がありましたか。	17%	17%	33%	33%
10	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	83%	17%		
11	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%			
12	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%			

保育所等訪問・居宅訪問型児童発達支援評価（事業所向け）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
1	訪問支援に使用する教具教材は適切である。	100%			
2	利用希望者に対して職員配置数は適切である。	33%	67%		
3	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、訪問支援計画を作成している。	100%			
4	支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%			
5	支援計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下でこどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	33%	67%		
6	支援計画を作成する際には、訪問先施設や担任等の意向を盛り込むため訪問先施設と連携しているか。	33%			67%
7	支援計画には、支援ガイドラインの「保育所等訪問・居宅訪問型支援の提供すべき具体的内容」を踏まえながら、具体的な支援内容が設定されている。	100%			
8	支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている。	100%			
9	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、支援計画の見直しを行なっている。	33%	67%		
10	「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得ている。	100%			
11	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%			
12	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	33%	67%		
13	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している。	33%	67%		
14	保護者向け評価表により、保護者等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%			
15	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%			
16	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	33%			67%
17	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	33%	67%		
18	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%			
19	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行なっている。	100%			
20	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行なっている。				100%

21	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっている。	100%			
22	こどもや保護者から相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
23	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%			
24	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	100%			
25	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っている。	100%			
26	訪問支援の実施後に、必要に応じて訪問先施設とのカンファレンスを行っている。				100%
27	訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っている。	100%			
28	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っている。				100%
29	「事故防止マニュアル」、「緊急時対応マニュアル」、「防犯マニュアル」、「感染症対応マニュアル」等の対応をし、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。		67%	33%	
30	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。		67%		33%
31	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	33%	67%		
32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	100%			
33	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	67%			33%

保護者評価

- 環境面
教具教材や事業の目的に関しては概ね高評価を得ることができている。
- 適切な支援の提供
子どもの特性等に応じた専門性のある支援に関し高評価だったが、支援頻度や時間、訪問先施設や担任・保護者等の意向を十分に盛り込むまでには至っていないような回答も見られた。
- 保護者への説明等
支援内容についてより分かりやすい説明を希望するご意見や保護者との情報共有の機会を増やしてほしいというご要望が聞かれている。
- 非常時等の対応
緊急時の対応に関しては訪問先と連携とれているのか分からないとの声が多かった。

訪問先施設評

- 環境面
電話対応、あいさつや身だしなみに好感もて、相談しやすい存在となっている事へは高評価だが、支援に使用する教材については不十分の意見が多くみられた。
- 支援の提供
専門性や助言の具体性、スタッフの知識・技術に対する満足度は高評価も支援内容についての話し合いに関してはどちらともいえないとの声がきかれる。

事業所評価

- 環境・体制整備
利用希望者に対する職員の配置人数が適切とは言えない結果だった。そのことで支援計画や支援に対する共通理解が充分とは言えない様子が伺える。
- 支援の提供
日頃から保護者への説明には時間をかけており課題と適切なアセスメントにより支援計画実施し支援が行われている。一方、見直しが十分に行えていないといえないようだ。
- 関係機関や保護者等との連携
地域の保健・障害福祉、保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制は十分に整えては、いないようだ。
- 保護者への説明
こどもの状況を保護者と伝えあい、状況や課題について共通理解を持っている事や相談・面談など必要な助言と支援を迅速かつ適切に対応している事へは高評価。
- 非常時の対応
「事故防止マニュアル」「緊急時対応マニュアル」「防犯マニュアル」「感染症対策マニュアル」等の対応、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練実施に関しては不足と感じているスタッフが多かった。安全管理に必要な研修や訓練についても十分であると感じるスタッフは少なかった。安全管理に必要な研修や訓練についても十分であると感じるスタッフは少なかった。

事業所内での分析（保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援）

・共通点

専門性や助言の具体性、スタッフの知識・技術に対する満足度が高い。
緊急時対応体制の確認や教材管理状況の見える化について改善の余地がある。

・相違点

大きな相違点はなかった。

事業所の強み

- ・障害児リハビリ、重症心身障害児日常ケアの経験豊富なスタッフを配置できている。
- ・多職種・関連施設との連携

事業所の改善点

- ・事業所の活動内容や支援体制についてより分かりやすい情報発信を行う。
- ・緊急時対応の体制についても丁寧に周知する

事業所の改善への取り組み

- ・支援内容や支援方針、緊急時対応の体制について、より分かりやすく丁寧な説明を行い、安心してご利用いただけるよう努める。
- ・保育園、幼稚園、学校との連携を図り、利用児童・学童の成長や発達を支える支援体制を充実する。
- ・保護者・訪問先施設との情報共有および相談しやすい環境づくりの継続

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

スタッフの拡充を図り、支援内容をフィードバックしながらより良い支援を提供できるようにしていきたい。

※居宅訪問型児童発達支援は1件のみの実施のため、保育所等訪問支援の結果とともに評価・分析を行っている。

事業所名 放課後等デイサービスこまち

担当者 井上 淳